我等大衆闘争の前衛

行動隊を職域地域別に再編成

企闘で生れた三池の行動隊は輝しい闘争成果により炭婦協と共に全國の視聴をあつめたが、より一層果敢な闘いの歩を進め炭労の指向する大衆闘争の前衛的役割りを果すため各支部まちまちだつた行動隊組織を地域別、職域別に再編成すべく各支部共これが具現化に努めて居るが、特に三川支部では今月初旬来繰ケ丘楓町、西原、万田各社宅に次ぎ廿二日新港社宅行動隊の結成を華々しく挙行、これらを皮切りとして大体九月末までには全部の結成を終る運びとなつて居る。

三川支部新港社宅行動隊の結成大会は廿二日午前九時から旧保育園で挙行、先ず議長に西方治一氏を選び地域分会完已会長の挨拶に次いで率先応募した廿二名の隊員の自己紹介、支部執行部を代表して有働教宣部長始め各種出体のメッセージがあり隊員の意見発表に移る。

△内山君　最近殺人、強盗など兇悪犯が目立つてふえた原因は色々あるだろうが政治の貧困が主因をなして居る。行動隊が結成され第一歩を踏み出すに当りこたびルマ米四千五百トン中佐賀、の事をしつかり腹の底に叩きこむ大半田に配給されたもの丶中に黄変米が発見された事から狼狽した倉庫事務所では取敢ず港務所のストック約一千百廿バトンの出荷停止を命じたので今月に入つてからは外米の配給はストップされて居るが、中央では去る十七日から黄変米の二・五%配給基準を再検討するため草葉厚相はじめ木村次官、各局長らおエラ方が二・五%の混入米の試食を行つたが、その個後厚相は新聞記者団に対し「黄変米なんて大した事はないさと放言して居り、問題を重視した衆議院決算委員会は廿三日の委員会で法務当局に対し黄変米につき最終的な質疑を行つたのち

一、政府は責任の所在を明らかにし適当に処置せよ。

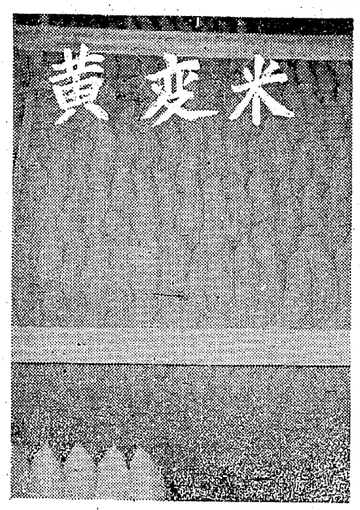
二、病変米を配給することを中止せよ、再検その他の処理を行い再検討の上学者の一致した意見によりこれを処理せよ。

三、病変米の処分は公平、適正を期し、且つ国損を最少限度に止めよ。

四、外米輸入に当り病変米の輸入を防止するよう努力せよ。

等を満場一致決議した。しかしこれでは政府が二・五%配給を素直に引込めるかどうかはこれまでの世論を無視したやり方から見ても疑問なので一層監視を厳重にすると共に反対運動を更に積極的に推し進めるよう労務でも指示している。

【写真は港務所の倉庫にねむる黄変米】



配給を中止せよ

衆院決算委が決議

その後の黄変米問題

黄変米問題はその後どうなつたろう？　この四月、三池港に入荷しされ第一歩を踏み出すに当りこたびルマ米四千五百トン中佐賀、の事をしつかり腹の底に叩きこむ大半田に配給されたもの丶中に黄変米が発見された事から狼狽した倉庫事務所では取敢ず港務所のストック約一千百廿バトンの出荷停止を命じたので今月に入つてからは外米の配給はストップされて居るが、中央では去る十七日から黄変米の二・五%配給基準を再検討するため草葉厚相はじめ木村次官、各局長らおエラ方が二・五%の混入米の試食を行つたが、その個後厚相は新聞記者団に対し「黄変米なんて大した事はないさと放言して居り、問題を重視した衆議院決算委員会は廿三日の委員会で法務当局に対し黄変米につき最終的な質疑を行つたのち

一、政府は責任の所在を明らかにし適当に処置せよ。

二、病変米を配給することを中止せよ、再検その他の処理を行い再検討の上学者の一致した意見によりこれを処理せよ。

三、病変米の処分は公平、適正を期し、且つ国損を最少限度に止めよ。

四、外米輸入に当り病変米の輸入を防止するよう努力せよ。

等を満場一致決議した。しかしこれでは反攻を企図して牙を剥いで居る。また政府も黄綱で首をしめるように漸次弾圧政策を強めて来て居る時、我々行動隊の責務が一入重いものを痛感する。

△西脇君　新港社宅には四百名の組合員が居る。本来ならば全員行動隊に参加して貰いたかつた筈に応募したのは我々廿二名であるが、今後次第に拡大強化されることを信じ勇往邁進したいなど炎々壇上に立つて居発に述べ意気高らかに全員で労働歌を合唱、十時四十分結成式を終えた。尚行動隊班長には左藤哲蔵、副班長には内山等之介両君が全隊員一致の推挙により夫々決定した。

△酒井君　企闘以来会社は急角度に労務政策を変更したとは云えそれは表向きだけの事で、裏面にはなお炭婦協共同主催で良い子遠の七夕揮毫会を開催した、定刻の午后六時半前より続々とつめかける各班の子供達は二百数十名、定刻には集会所の会場が一杯となる壮観さ、中村展次郎文化体育部長の開会の言葉で揮毫会に由来について話があり、最后に藤木総務部長より各班の児童代表に色紙と筆竹を渡し各班に於てみんながそれぞれ頭をしぼり、紙の傑作品が色とりどりと筆竹にけられ飾られた、七夕は街空にひらひと放置して居り、問題を重視した衆議院決算委員会は廿三日の委員会で法務当局に対し黄変米につき最終的な質疑を行つたのち

一、政府は責任の所在を明らかにし適当に処置せよ。

二、病変米を配給することを中止せよ、再検その他の処理を行い再検討の上学者の一致した意見によりこれを処理せよ。

三、病変米の処分は公平、適正を期し、且つ国損を最少限度に止めよ。

四、外米輸入に当り病変米の輸入を防止するよう努力せよ。

等を満場一致決議した。しかしこれでは反攻を企図して牙を剥いで居る。また政府も黄綱で首をしめるように漸次弾圧政策を強めて来て居る時、我々行動隊の責務が一入重いものを痛感する。

△西脇君　新港社宅には四百名の組合員が居る。本来ならば全員行動隊に参加して貰いたかつた筈に応募したのは我々廿二名であるが、今後次第に拡大強化されることを信じ勇往邁進したいなど炎々壇上に立つて居発に述べ意気高らかに全員で労働歌を合唱、十時四十分結成式を終えた。尚行動隊班長には左藤哲蔵、副班長には内山等之介両君が全隊員一致の推挙により夫々決定した。

棟割長屋の悲哀

三番方上りも寝て居られない

社宅に拾う苦情の数々

九日から始まつた中央労働協議会の焦点は何と云つても社宅の問題である。社宅が足りない、各戸水道が欲しい、雨漏りがするが中々修繕に来て呉れない等々すべて彼等は組合員、家族の日常生活と最も密接にむすびついた問題なだけにもつと、もつと地域的な声を盛りあげて日常の大衆闘争として活発に推進される事が望しい。炭労のいわゆる〝前段闘争〟にもこの事が第一に謳つてある。以下は記者が各社宅を廻つてあつめた「社宅の声」――

野添社宅Aさん（主婦）

せま過ぎます。職員の社宅にくらべてまるでこれでは大小屋です。もうかし人間並みに扱つて欲しいと思います。

日井社宅Bさん

陽当りのよいのは結構ですが、ヒサシが短いので午後になると家中伺処に居ろうと照り返しで蒸し風呂のようです。雨も降り込みます。全く処置なしです。

瞬江社宅Cさん

蟲がぶんぶんで、大掃除の時など外にも出ません。それにシツトでフチなしですから痛みかたも早いようです。この際、全部フチつきのに取り替えて貰いたい。

万田社宅Dさん

納屋時代そのまゝの棟割長屋なので三番方あがりで寝ていても外がらまる見えですし、また子供のための適当な遊び場がないので庭々しくちつとも寝ておられません。これでは仕事に差支えるし、保安上からも面白くない。社宅の中に子供の遊び場を是非欲しい。

大平社宅Eさん（主婦）

少年の水死悼み

社宅総出で死體捜索に協力

八月十日、早田勝敏君（小学四年一時三十分頃から三十名の人員が生）は諏訪川の川口で水泳中に水死した。

午後二時ごろ泳ぎにいつたが五時頃になつても帰らないので大騒ぎになり、新港社宅港務所分会、三川分会、察分会、学生会を動員しく一応引きあげたが、その間、学港務副支部長、労働部長、教宣部長、三川教宣部長等を中心に地域分会長を先頭に水泳の達者な人三十名を選び、漁船やボートをくりだし、カラハリをボートに引かせたり、もぐつたりで探したが手がかりがないので、千潮時をまち十時ごろ泳ぎにいつたが五時間　十一日午前二時を過ぎてもなんら手がかりがないのでやむなく一応引きあげたが、その間、学生会ではマキをかりあつめ、たき火をしたりお茶をわかすといつた協力ぶりであつた。

協議の結果、死体の浮ぶのを待つよりほかなしと若者数名を残して巡回にあたらせ、ほかの人達は一応家へ帰つた。

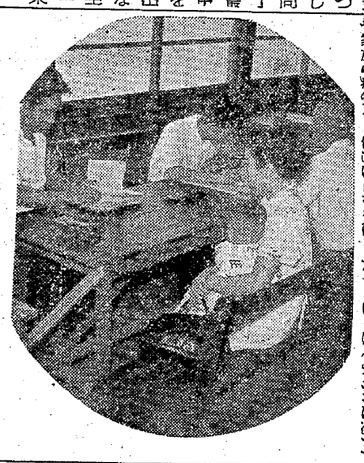
午前五時、保安庁の巡視船うべ丸が出動し、ボートと協力捜査巡回中、六時三十五分、川口の真中あたりから死体はぽつかり浮びあがつた。うべ丸はこれをボートにのせ、家人のもとに収容された。死んだ勝敏さんの母チヨさんに代り川口さんは次のように語つた。

死んだ勝敏の母は私の姪であり勝敏の父は港務所に働いていましたが、召集をうけビルマで戦死しました。その後母の手一つで四人の子供を育てました末子でございますが、死んだ悲しみより普段方がさむいなかをこうしてまで御協力下さつたことは身にしみ、感謝の言葉もありません。さむいなかを誠にありがとうございました。

〝金の成る木はない〟

宮浦支部の窓口から覗いた治退金借金

借金退治のための生活たて直しに他支部に遅れす宮浦支部長が陣頭に立つて大童の活動をしているが、某日同支部を訪れると丁度生活相談の真最中高額申込者の中から毎日約廿名をすぐつて通知を出し、借金の事由なり返済のための生活改善など一人一人懇切に相談に来る仕組みだが、



借金の貸出しを行つたのは二百四、五十名の申込みに対し約二百件百六十万円、借金の原因については本人や家族の病気その他真に止むを得ないものから、無理算段が出た者、出動不良で収入が少い者等も相当数に上つて居るが、これについて湯村副支部長は次のように語つている。

金のなる木は無いのですから結局本人が自覚して地道に稼ぎ、内にあつては主婦が元意をはぶいて家計を切り盛りする以外借金苦から救われる根本的な方策はありません。共済会だけを当てにする安易な考え方は禁物だ

【寫真は宮浦支部の生活相談風景】

池だんご

炭婦協

鉢巻が陽傘の代り

よくぞたゝかつた百十三日

座談会―企闘の思い出

昨年の「英雄なき一一三日の闘い」が愈々熾烈化した八月廿一日の笹林公園に於ける抗議大会（本社デモ）九月四日の勧告書返上デモの記念すべき日を間近かに控えて、宮原炭婦協では八月二十六日午後八時から約一時間半、中島分会長以下各班長さん達が分会長宅に集り、当時を偲んで思い出を語り合つた。（文責平島通信員）

司会　八月三十一日の抗議大会には。

F　笹林には三万人位集つたでしようね。それから本社にデモをかけた。

C　坂梨次長、水町労働課長をユニスカーの上にあげて……。

D　皆様の意志を伝えますと言つたが一時逃れに過ぎぬと思つて夜通しでも頑張ろうと思いました。

C　家に帰つて、勧告書を持つて来た様だと近所の人に聞いた時は、覚悟はして居つたもの丶、一時がつかりしましたが、同時に何くそと奮げるものかと思いました。

A　組合弾圧ですね。

E　屋食抜き夕食抜きで子供連れも可成りありましたが、雨は降る自動車小屋に雨をさけたが

G　泥沼の様な中を背から腹迄泥まみれになつてニュース・カーの廻りを廻つたが苦いとは思いませんでした。

E　声がすつかり嗄れました。

A　あゝいう時は好い言葉も出ないし、又生きるか死ぬかの瀬目に言葉等かまつて居られませんが後で大井さんが日本語の中には よくまあ悪口の数があるものだと言つてたそうですね。

C　腹の底から出た言葉ですよ。

F　返上デモで問題が片付くとは思わなかつたが、勧告書を受取つた時は、八分通り勝つたと思いました。

B　皆に勇気が出て来ましたね。

E　既成婦人会の人も初め半数位

泥に塗れて

九・四棺桶デモ

司会　九月四日の勧告書返上デモについて。

E　屋食抜き夕食抜きで子供連れも可成りありましたが、雨は降る自動車小屋に雨をさけたが

B　皆に勇気が出て来ましたね。

E　既成婦人会の人も初め半数位

じつとしても居れず文雨の中に飛び出しました。

G　泥沼の様な中を背から腹迄泥まみれになつてニュース・カーの廻りを廻つたが苦いとは思いませんでした。

E　声がすつかり嗄れました。

A　あゝいう時は好い言葉も出ないし、又生きるか死ぬかの瀬目に言葉等かまつて居られませんが後で大井さんが日本語の中には よくまあ悪口の数があるものだと言つてたそうですね。

C　腹の底から出た言葉ですよ。

F　返上デモで問題が片付くとは思わなかつたが、勧告書を受取つた時は、八分通り勝つたと思いました。

B　皆に勇気が出て来ましたね。

E　既成婦人会の人も初め半数位

今週のこよみ

一日　二百十日

二日より三日間　炭労大会（北海道）

四日　首切勧告返上一周年記念日

家計簿のつけ方

計理士　杉原　實（終）

さていよ〳〵一ケ月分を記入しましたからこれを集計してみましよう。

先づ入金の中から給料を見つけて別表集計表のように記入します。次に家計簿の支出の科目を集計表に図のように記入してみます。そうすると一ケ月のお宅の収入と支出が全部出揃いますから今度は支出の合計を出してみます。

一ケ月分の収入から今合計した一ケ月の支出を差引いた金額七月分の剰余金になりますが、逆に支出の方が多い時は支出の合計から収入の合計を差引いた残高が七月分不足金即ち七月分の赤字ということになります。

それなら貯金や借入金の出入れはなぜ集計表に入れないのだろうという御意見が出ると思いますが、集計表には収入支出の集計表と財産負債の集計表と二種類ありまして、別図は勿論収入支出の集計表です。家計簿の集計表はこれだけでよいと思います。そして財産負債の増減を知る為に集計表の下の余白に七月末日の現金、借入金、貯金の残高を記入しておきます。借入金は支払いの都合もありますから同じの借入先別に金額を書いておきます。集計表に七月分余が一〇二四一円あるのに実際の現金残高が一、〇四一円しかないが変だと云う疑問が出ますので一〇二四一円は一体どうなつたのかを調べてみましよう。

七月分　集計表

科目	金額	科目	金額
主食費	1000	給料	21,000
副食費	234		
教育費	110		
科学費	330		
衣料費	200		
医療費	2,000		
雑費	5775		
図書費	1,180		
交際費	1,930		
小計	10,759		
7月分剰余	10,241		
	21,000		21,000

7月末日現在

借入金	1,041,一〇四一円	借入金	4,000
共済会	高利貸	借入金	3,000
高利貸	三池郊	貯金	11,200

7月末日現在

借入金	七、〇〇〇円	差引	五、二四一円
差引	五、〇〇〇円	即ち六月分の差引五、〇〇〇円の赤字を七月中に支払つてしまつて向五、二四一円の黒字になつていますから七月中に財産が一〇、二四一円増加したことになるわけです。	

予算の立て方

今集計表を作り上げましたが、この集計表をその基礎にして八月分の各支出科目の見込みを立てその見込みに含ませて支出してゆきます。そして八月分剰余金の見込みが立てばその剰余金で借入金返済の見込みを立てましよう。以上で一応私の家計簿のつけ方を終ります。永い間御退屈だつた事と存じますが聊かでもお役に立てば幸です（終）

火を吐く打棒

三川チーム初優勝遂ぐ

三鑛少年野球大會

第八回三鉱少年野球大会は廿一、廿二の両日延命及び三作球場で盛行、炎熱にもめげず、各支部からはせ参じた組合員、家族の熱狂的な応援の下、小学生とは思えぬ技の応酬で敢闘を繰り、結局前年、前々年あたり優勝一歩手前まで行きながら惜しくも逃がして居た三川チームが今年は必勝の意気に燃えて雄叫を挙げ倒し、見事初制覇を遂げた。戦績左の通り

△第一次戦

本所　14―1　三作

四山　5―3　宮浦

三川　20―0　三作

港務　12―2　宮浦

△準優勝戦

三川　9―1　本所

港務　11―9　四山

△優勝戦

三川　2 0 0 5 2 7 16

港務　0 3 3 0 0 0 6

（六回コールド・ゲーム）

△バッテリー＝三川、田尾―西山

港務、森田　嵐山、米盛―龍

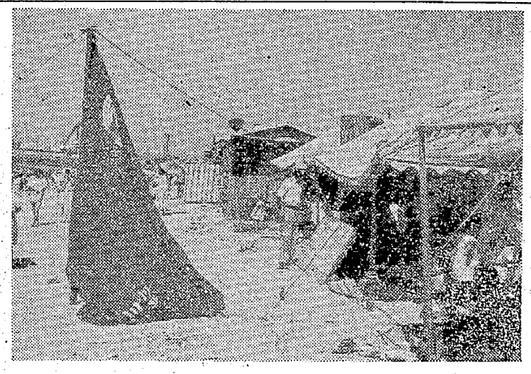
【評】　投手に安定性を欠く港務は初回三川に二点を先行されて不安を持たれたが、二、三回三川田島投手の乱れと敵失を利しに転覆れに対し三川は四回以後三川の田島は好く立直りサウスポーに特有のインカーブの切れ味と威力のある長直球で港務を抑え、ついに大原さんは胸に墓場三度三度のお楽もお互いにわかり合うので、多少は見苦も手伝つて家計にひびくこと甚大です。水道の問題だけでも早くけけて行事として去る廿一日午前十時から港務支部では組合員、家族の慰安

西瓜取りや

ボート競漕

港務所の海水浴場

港務支部では組合員、家族の慰安行事として去る廿一日午前十時から三池港で海水浴大会を催した。この日参加者千名をこえ、泳ぐ人、潜ぐり手に四時過ぎまで童心に返つて楽しの綱引大会、西瓜取り、ボートレー、日を過した。



水泳大会に組合旗を立てた港務支部

火を吐く打棒

三川チーム初優勝遂ぐ

三鑛少年野球大會

第八回三鉱少年野球大会は廿一、廿二の両日延命及び三作球場で盛行、炎熱にもめげず、各支部からはせ参じた組合員、家族の熱狂的な応援の下、小学生とは思えぬ技の応酬で敢闘を繰り、結局前年、前々年あたり優勝一歩手前まで行きながら惜しくも逃がして居た三川チームが今年は必勝の意気に燃えて雄叫を挙げ倒し、見事初制覇を遂げた。戦績左の通り

△第一次戦

本所　14―1　三作

四山　5―3　宮浦

三川　20―0　三作

港務　12―2　宮浦

△準優勝戦

三川　9―1　本所

港務　11―9　四山

△優勝戦

三川　2 0 0 5 2 7 16

港務　0 3 3 0 0 0 6

（六回コールド・ゲーム）

△バッテリー＝三川、田尾―西山

港務、森田　嵐山、米盛―龍

【評】　投手に安定性を欠く港務は初回三川に二点を先行されて不安を持たれたが、二、三回三川田島投手の乱れと敵失を利しに転覆れに対し三川は四回以後三川の田島は好く立直りサウスポーに特有のインカーブの切れ味と威力のある長直球で港務を抑え、ついに大原さんは胸に墓場三度三度のお楽もお互いにわかり合うので、多少は見苦も手伝つて家計にひびくこと甚大です。水道の問題だけでも早くけけて行事として去る廿一日午前十時から港務支部では組合員、家族の慰安

優勝遂ぐ野球大會

三鑛少年野球大會

三鑛三作、三港より二チーム

三鑛三作、三港より二チーム

榮冠は何處へ？

初の三井六山野球大會

今回初めて三井鉱山は東京に各山務所に盛報、支部執行委員もかけの代表チームを選めて歌式野球大つけて直ちに万田分院に移し手当九月十五、十六の両日開催することとなつたが、参加チームは、三鉱三作、三港より二チーム田川、小野、砂川、吉別、美唄本店　各一チームとなつているので三池では従来三鉱大会の優勝チームに選手権を与えているので、現在選手権をもつている宮浦チームを出し、残りの一チームについては他の五チームの中から選出することとし、八月二十八日予選を開始したが、何しろ相見える六山対抗ともいわれる試合なので、各山チームは秘術をつくして闘うものと思はれる。

オート三輪が轉覆

―港務―

廿一日午前十時十五分頃、港務所の運転手大原輝夫さん（三四）が氷配給のためオート三輪車の助手席に袋材工梅崎四紀さん（三四）を乗せ万田駅から四山に向ほうとして悪水川に向つた道路（万田駅から約四百メートル）に差かゝつた際助手席の梅崎さんが目まいを起してフラフラしたのでこれを抱きとめようとして運転を誤まり悪水川の中に転覆、大原さんは軽傷で済んだが、梅崎さんはオート三輪の下敷になつて頭、胸に重傷を負い、直ちに大原さんが近くの松山医院に運び込んだが小児科のため外科設備がなく、万田駅から電話で港務所の海水浴場に向ほうとして